

令和8年度渋川市大学生等通学応援事業補助金交付要領

令和8年4月1日から適用

本補助金の交付目的、交付手続等は、次のとおりです。

<p>交付目的</p>	<p>市は、大学生等の経済的負担を軽減し、もって市民の定住の促進を図るため、東日本旅客鉄道株式会社等が運行する列車を利用して大学等に通学する大学生等に対し、予算の範囲内で大学生等通学応援事業補助金（以下「補助金」という。）を交付する。</p>
<p>内容</p>	<p>補助金の交付を受けることができる者（以下「補助対象者」という。）は、補助金申請日時点で渋川市内に住所（住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）に基づき住民基本台帳に記録される住所をいう。）を有し、通学定期券を利用して大学等へ通学する大学生等とする。ただし、次の各号に掲げるいずれかに該当する者は補助対象者から除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> （1） 市税の滞納がある者 （2） 渋川市暴力団排除条例（平成24年渋川市条例第30号）第2条第2号に規定する暴力団員又は第1号に規定する暴力団、これに類する暴力団関係企業、総会屋若しくはこれらに準ずる団体の構成員若しくはこれらに関する者 （3） 通学定期券の購入に要する経費に対して他の補助金等の交付を受けている者 （4） その他市長が不相当と認める者 <p>補助金の交付を受けることができる期間（以下「補助対象期間」という。）は、大学等に通学を開始した日の属する月から大学等を卒業した月の末日までで、定期券の有効期間が令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間のものとする。ただし、補助対象期間において、補助対象者が退学、休学等の事由により通学を行わなくなったときは、その事実が発生した日までとする。</p> <p>補助金の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、通学定期券の購入に要した経費とする。ただし、通学定期券の有効期間が補助対象期間内のものに限る。</p> <p>補助金の額は、申請書に記載した補助対象経費の合計</p>
<p>補助対象期間</p>	<p>補助金の交付を受けることができる期間（以下「補助対象期間」という。）は、大学等に通学を開始した日の属する月から大学等を卒業した月の末日までで、定期券の有効期間が令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間のものとする。ただし、補助対象期間において、補助対象者が退学、休学等の事由により通学を行わなくなったときは、その事実が発生した日までとする。</p>
<p>補助対象経費</p>	<p>補助金の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、通学定期券の購入に要した経費とする。ただし、通学定期券の有効期間が補助対象期間内のものに限る。</p>
<p>補助金の額</p>	<p>補助金の額は、申請書に記載した補助対象経費の合計</p>

補助金の額	<p>額に100分の20を乗じて得た額とし、1月当たりの上限額は別表に定める金額とする。ただし、100円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。</p> <p>別表</p> <table border="1" data-bbox="560 454 1189 692"> <thead> <tr> <th data-bbox="560 454 903 501">交通機関の種類</th> <th data-bbox="903 454 1189 501">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="560 501 903 595">新幹線利用あり</td> <td data-bbox="903 501 1189 595">上限10,000円／月 (120,000円／年)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 595 903 692">新幹線利用なし</td> <td data-bbox="903 595 1189 692">上限5,000円／月 (60,000円／年)</td> </tr> </tbody> </table>	交通機関の種類	金額	新幹線利用あり	上限10,000円／月 (120,000円／年)	新幹線利用なし	上限5,000円／月 (60,000円／年)
交通機関の種類	金額						
新幹線利用あり	上限10,000円／月 (120,000円／年)						
新幹線利用なし	上限5,000円／月 (60,000円／年)						
補助対象区間	<p>補助金の対象区間は、渋川市内に所在する駅を出発点とし、大学等に通学する区間であって、渋川駅を起点として36.1キロメートル以上であることとする。一会計年度内に複数回申請を行う場合において、その区間は必ずしも同一区間であることを要しない。ただし、その区間は、通学区間として通常利用すると考えられる合理的なものでなければならない。</p>						
予算額	<p>この補助金の事業全体の補助限度額は、500万円です。限度額に達した時点で受付を終了します。</p>						
交付申請の方法、時期等	<p>補助対象者であって補助対象期間の条件を満たし、補助金の交付を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、令和9年3月31日までに渋川市大学生等通学応援事業補助金交付申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて市長に申請しなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 申請者の学生証の写し又は在学証明書 (2) 申請しようとする通学定期券の利用期間等が記載された通学定期券の写し (3) その他市長が必要と認める書類 <p>【注】申請者の納税状況の照会及び住民基本台帳を閲覧することに同意しない場合は、滞納のない証明書及び住民票の提出が必要です。</p>						
交付決定の方法、時期等	<p>市長は、申請者から上記の規定による申請があった場合は、申請のあった日から14日以内に、その申請に係る書類を審査し、適当であると認めるときは、渋川市大学生等通学応援事業補助金交付決定兼確定通知書(様式第2号)により当該申請者に通知します。</p>						

請求の方法、 支払時期等	<p>補助金の交付の決定を受けた人は速やかに渋川市大学生等通学応援事業補助金交付請求書（様式第3号）に渋川市大学生等通学応援事業補助金交付決定兼確定通知書（様式第2号）の写しを添えて請求してください。</p> <p>提出された請求書に基づき、請求日から30日以内に支払います。</p>
交付決定の取消し又は補助金の返還	<p>次の場合は、補助金の交付決定の全部又は一部が取り消されます。</p> <p>(1) 偽りその他不正の手段により交付決定又は交付を受けたとき。</p> <p>(2) 渋川市大学生等通学応援事業補助金交付要綱の定めに違反したとき。</p> <p>(3) その他市長が補助金を取り消すべき事由があると認めたとき。</p> <p>次の場合は、指定された期限までに、補助金を返還しなければなりません。</p> <p>(1) 補助金の交付を受けた後、補助金の交付決定を取り消された場合は、取消しに係る部分の金額</p>
申請書等の様式	<p>渋川市大学生等通学応援事業補助金交付申請書（様式第1号）</p> <p>渋川市大学生等通学応援事業補助金交付決定兼確定通知書（様式第2号）</p> <p>渋川市大学生等通学応援事業補助金交付請求書（様式第3号）</p> <p>渋川市大学生等通学応援事業補助金交付決定取消し通知書（様式第4号）</p> <p>渋川市大学生等通学応援事業補助金返還命令書（様式第5号）</p>
その他	<p>補助対象者は、申請に関する書類を備え付け、補助金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保存しなければなりません。</p>
取扱担当課	<p>渋川市役所市民協働推進課（本庁舎）</p> <p>電話 0279-22-2401（直通）</p> <p>0279-22-2111（内線2182）</p> <p>メールアドレス iju@city.shibukawa.gunma.jp</p>